

「第4回ファシリテーション勉強会 in 沖縄」実施レポート

日時: 2008年6月28日(土) 13時00分~17時00分

会場: 沖縄県自治研修所 研修室(那覇市)

テーマ: 『ファシリテーション・ツールを体感してみよう!』

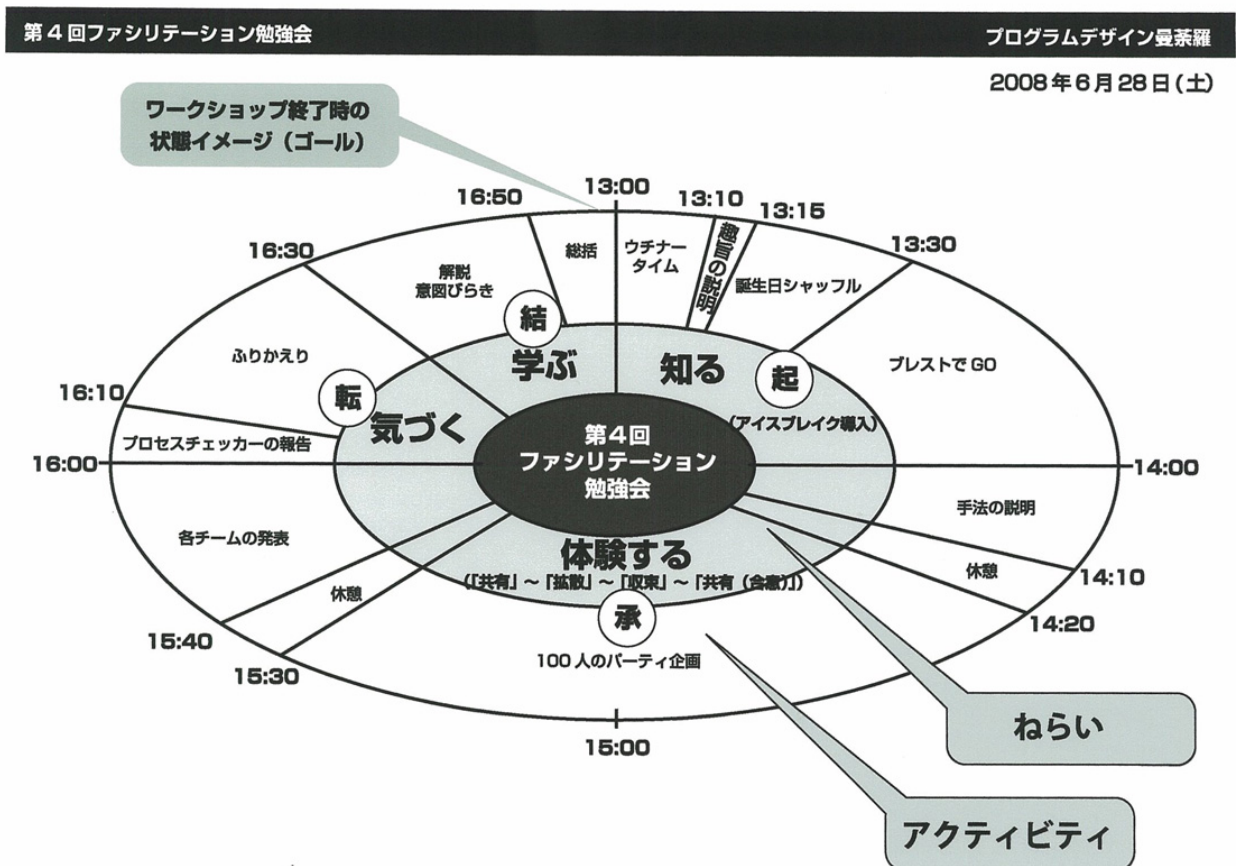
趣旨: 「付箋紙、水性マーカー、模造紙」の黄金トリオをはじめ、「アイスブレイク」から「プレスト」、「マンダラ」まで、会議や企画の性格にあわせながら使える様々な道具(ツール)を随所にちりばめたツール体験のための勉強会。ファシリテーションって初めてという方からファシリテーター・デビューの方まで、幅広い層が楽しめるよう、いよいよ門戸を広げての開催となった。

参加者: 31名(行政、IT企業、経営コンサルタント、新聞社、団体職員など)

報告: 株式会社カルティベイト 平井雅

【内容】

- 。↓参加者の皆さんに配付したマンダラ。時間も含めてほぼこのとおりに進行した。10分のウチナータイムで収まってきっちりスタートできたのがすごいです!(^_^)



。各メニューの内容とねらい（ピンクの部分）は以下のとおり。



■誕生日シャッフル

- 各参加者ができるだけたくさんの人と自己紹介し合うことで、場の雰囲気を暖めることができました。ついでにグループ分けもできて一石二鳥！

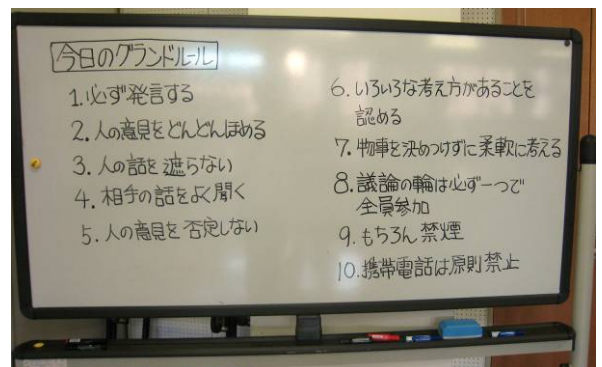
■プレストでGO

- 「遅刻のいいわけ」をお題にどんどんアイデアを出してグループごとに数を競いました。その後、それぞれのグループで「ステキないいいわけ BEST3」を発表して、それぞれの奇抜で笑えるいい訳をシェアしました（実際に遭遇したいいいわけで「アラーの意志で」なんてのもあったそうです）。
- 本ワークと同じプレストをアイスブレイクとしてもやったことは、みんなでやり方に慣れるという意味でもよかったです。



■100人のパーティ企画

- 「最近客が入らなくてパツとしない 100 人収容のホールのために、ピリッとしたパーティを企画する」という設定で、ブレインストーミングのワークをしました。
- 各グループに 1 人ずつファシリテーターとプロセスチェッカーを配置して約 1 時間で企画をまとめました。プロセスチェッカーには専用の用紙を配付して記入していただきました（別添）。
- 最初に、「今日決めるべきことを決める」と題して、それぞれのチームでピンクの付箋紙に「日時」や「テーマ」「対象者」などを書き出し、後々の収束で用いるフレームワークを最初に準備しました。この“フレームワークの種まき”が後々のアンケートなどでも好評でした。
- テーマ決めやキャッチコピー決めなどの意志決定・合意形成には、多重投票を活用してみました。





■プロセスチェッカーの報告

- 各グループでワークの経過を観察していたプロセスチェッカーから報告していただきました。アンケート結果によると、このプロセスチェックが難しいと感じられた方が多かったようです。

■ふりかえり

- 以下、ワーク後に各グループごとで行った振り返りの結果です。
 - アイスブレイクが会議を始めるにあたっていかに重要かが認識できた。職場でも是非やるべき。
 - 付箋紙でいろいろな意見を出してまとめると考えが整理される。
 - グラドルールで「人の意見を否定しない」、「どんどん出す」などがあることから意見を出しやすい。
 - 時間内でよくまとまったのではないかな。
 - いろいろな意見が出て楽しかった。
 - (ファシリテーターとして) 拡散を収束にチェンジするのがむずかしいと思った。時間内に終わらせようと焦った。最後は少し強引かなと思った。
 - 5番目のグループが自分たちに比べ一番色々なアイデアが出て、またまとまった企画になっていた。その理由の一つとして、決め事(フレームワーク)が決まった後のプレストが沢山引き出されていたからだと考えられる。
 - 付箋(ファシリテーション)を使うことによって、個人への批判とならず、会議が円滑に進んだ。
 - また、通常の会議では「議論の空中戦」がおきることがよくあるが、ファシリテーションを活用することによりそのような問題が解決する。
 - うまくアイデアがまとまり、現実的な企画になった。
 - 拡散する前にフレームワークを決めていたのがよかった。
 - もっと拡散して広げてもよかったかもしれない。ルールが決まっているのですり合わせられ安いと思った。
 - プレストする際、テーマを決め(リストから)した方がまとまり易いかも。【目的→拡散】ではなく、【テーマ→拡散】
 - いろいろ言い合っているうちに、考えがまとまった。広げていく時間が決められているのでたくさんの提案が出来た。時間が決まっているため、何か提案しなければならぬと思った。多数決の際、上司の1票と自分の1票の重さの差がなかった。

- 決められている時間で決定していくので分かり易かった。
- 細かいディテールまでできなかった。自分の中に落とし込めておらず提案という形までにはいっていなかった。
- 最初にもっと意見を出し合えるとよかった。固まりすぎていた。
- 子育て中にこだわりすぎた。反省(汗)。
- 全員がこのテーマで合意していなかったかも。温度差があった。
- 拡散にもっと時間をかけてもよかった。アイデアをたくさん出して点数制にするとか。紙に書くと皆の意見が出る。

■意図びらき

- 企画内容という「コンテンツ」や、付箋紙・ブレストなどの「ツール」だけでなく、「共有・拡散・収束・合意」という「プロセス」という視点から議論を進めることの重要性についてお話ししました。
- その後、何名かの方々からコメントをいただいて全体で共有しました。



■泡(盛)の会

- 例によって泡(盛)の会、盛り上がりました～。九州土産の焼酎も持ち込まれ、皆さんご満悦でした。

□後日、「第5回勉強会に向けた第1回企画会議」の場でもふりかえりをしました…

○よかったこと ✨

- ブレストでGOは練習にもなるし雰囲気も和むしよかった。
- 「100人のパーティを企画しよう」というテーマ設定もわかりやすかった。
- 自治研修所の広い教室という場所、会場のレイアウトもよかった。備品も揃っていた。
- 4時間の中の時間配分も適切だった。
- 振り返りの時間が有意義だった。

○反省点 🧐

(ファシリテーターとして)

- シャベリすぎてしまった。(みんなが黙っていると不安になる。)
 - ⇒ファシリテーター・マインドを身につける！ 発問(質問)で引き出すことが大切！
- 自己紹介タイムをちゃんと設けるべきだった。
- 時間に追われて最後は強引になってしまった。
- プロセスチェックが難しかった。
- 次回は振り返りの時間も付箋紙やホワイトボードなどのツールを使うといい。

(参加者として)

- 横文字の用語がわかりづらかった。
- グループの中で、ファシリテーターのサポートをしていいのか、自分のポジショニングがよくわからなかった。

第4回ファシリテーション勉強会 WEB アンケート結果

2008年6月28日（土）・沖縄県自治研修所 402 研修室

◎回答者の属性

年代	女性	男性	無記入	総計
20代	1	1		2
30代	4	2		6
40代	1	4		5
50代	1	1		2
無記入			1	1
総計	7	8	1	16

※ 参加者は、男性 19 名、女性 12 名、合計 31 名。回答率 51.6%。

Q1. 今回の勉強会を知ったきっかけは？

今回の勉強会を知ったきっかけは？	お名前	集計
知人・友人から	コマキさん	4
	新垣健一さん	3
	久保田 昌人さん	1
	八幡幸司さん	1
	平井さん	1
	喜瀬茂さん	1
	知人・友人から 集計	11
勉強会MLで		4
その他	自分で	1
	総計	16

Q2. なぜこの勉強会に参加しようと思いましたか？

- これから先へのステップだと思ったので。
- 地域での子育てについての講演会を企画しており、その運営に役立つ内容だと思ったからです。
- 沖縄にファシリテーションを普及させたいから企画した。
- マインドマップやファシリテーション自体に興味があったこと。以前の職場の会議は上司が右と言えば右！でしんどかったから。
- ファシリテーションとは？を知りたいからです。
- 現在、業務で自分の担当事業の説明をする機会が増えている為、相手が納得しやすい説明スキルの勉強がしたいと思った。
- マインドマップ等に興味があったから
- 社内の会議のあり方にいつも疑問を持っていて、
 - ・結局肩書きが上のやつがいったことで結論になる
 - ・事前に何の準備もせず会議に望んでしまう
 - ・報告だけで終わる、アイデアただけで終わる
 - ・目的のはっきりしない会議が多い
 など、カイゼンする方法があれば知りたかったから。
- ファシリテーションに興味を持ったから。
- 仕事で、お客様やスタッフとのコミュニケーションがうまくできていないので、参考になるかと思い参加しました。
- ファシリテーションの理解、体験、気づきを得られる為と、異なる業界の方の意見を聞くことが可能な為。
- 以前からファシリテーションというものに興味があったので。
- 仕事に参考になりそうな情報が得られそうなことと、人と会うのが好きだから、参加しました。
- 仕事に役立つと勧められたため
- ファシリテーターとしてのスキルを高め、仕事にもいかしていきたいから。

Q3.次のうち、印象に残ったことは？(いくつでも結構です)

印象に残ったこと	
「共有」「拡散」「収束」「合意」	12
100人のパーティ企画	9
プロセスチェック	8
ふりかえり	7
プレストでGO	7
誕生日でシャッフル	5
「付箋」「水性マーカー」「模造紙」	5
「プロセス」と「コンテンツ」と「ツール」	3
泡(盛)の会	2

Q4.今回の勉強会で「すぐに活用できそうだ」と思ったことは何ですか？

- 共有ー拡散ー収束ー合意
いつもこれを意識して活用したいと思います。
- 付箋と水性マーカーを使用すること
プロセスチェック
- 全部。
- マインドマップはさっそくカウンセリングの検証に使っています。
- 共有、拡散、収束、合意
- フレームワークを先に作る！
これが今回参加しての新しい発見でした。
今後の職場での議論等の際に、意識してやってみたいと思います。
- 付箋紙に書き込み、それを体系立ててそこに意識を集中させること
- 模造紙、付箋紙、水性マーカー
- アイスブレイク、付箋
- 付箋、水性マーカー、模造紙のゴールドトリオ (笑)
- プロセスチェックをやってみて、プロセスを客観的に眺めてみることの重要性を認識できた。
- 拡散しがちになりそうな会議のなかで、収束ポイントをあらかじめ出しておくというのが参考になったように思います。
- 「共有」「拡散」「収束」「合意」は日常の様々な場面で経験していると感じました。なので、すぐにでも活用してみたいと思いました。
- 考えを付箋紙に記入して、整理すること
- ・ブレインストーミングワーク
・「共有」「拡散」「収束」「合意」
- 最初に収束の種まきをして、今日決めることを決めること。

Q5.逆に「ちょっと難しいな」と感じたことはありましたか？

- 拡散があまりできなかったのは何故か？
いろいろ考えた。
1、島のメンバーがまだ打ち解けてなかった。
2、自己紹介などを島でも先にすればよかった。
3、女性ばかり固まっていたが別にこれは問題のようで問題でないと反省。
とかいろいろありましたが、結局はメンバーひとりひとりの性格などにもより、参加する人をいかにアイスブレイクさせ、プレスト迄に導けるか、今のところの課題です。あとはまた学習します。
- 100人のパーティーの企画の際、全員が納得いく企画にまとめることができなかつたこと。
うまく会議が進んでいないなと感じたとき雰囲気を変えるの難しかったと感じました。

- プレストでの意見の引き出し方。
- 前提の確認事項をしても、老若男女問わず無理な人は無理なのかも。
- プロセスチェック
- ブレーンストーミングで拡散させる！
どうしてもまだ紙に書く前に一度自分の中だけで検証して除外している癖がある。
- ファシリテーターとしての役割
- プロセスチェック
共有・拡散・収束・合意
- プロセスチェック
- プロセスチェックと共有、拡散、収束、合意の流れをつかむこと
- プロセスチェックをどう扱うかがまだ不明です。
- 特にありませんでした。
- いろいろな意見を項目ごとに、集約していくこと
- とくになし

Q6.その他、勉強会に参加しての感想や今後勉強会に期待することなど自由にお書き下さい。

- 回を重ねるごと、真剣になってきました。もっと真剣になります。
毎回、素晴らしいメンバーの中で有意義な勉強会をさせていただいてます。皆さんにお礼を伝えたいです。ありがとうございます。
- 複数での考えのまとめ方でしたが、一人でなにか企画をする際にも使えると思いました。
また、様々な職種の方との出会いもあり参加してよかったと思います。
ありがとうございました。
- ファシリテーターとしての反省点
 1. 全体のプログラムデザインの中で、各テーブルに分かれてすぐに自己紹介タイムをもうけるべきだった。
 2. プレスト中にファシリテーターとして「人の意見にコメントしない」という原則を守りきれなかった。
 3. 手順の説明をもう少しちゃんと練っておけばよかった。
- 様々な業種の方と一緒にファシリテーションを勉強することができ、第一線で活躍されてる方の発想の柔軟さやプレゼン能力の高さなどを肌で実感させられ、触発を受けられた点がとてもよかった。
また他の方の意見を聞いてなるほどと思わせるものが多く、もっと発想力を身につけたいと感じた。
発想力をアップさせられる何かおもしろいトレーニング方法等があれば勉強会でできたらうれしい。
また次回もぜひ参加させていただければなと思います！
- 次回も参加します！
- ツールや理論を主にやるものと勝手にイメージしていたので、レクリエーションっぽく楽しく取り組みました。
- 他業種の方と話す機会があまりないので新鮮で勉強になった。
- 東京から転勤してきて沖縄での勉強会は初参加でしたが、沖縄の人たちの気配り、暖かさをあらためて感じました。
今後とも、よろしくお願いします。
- 今回、土曜日開催ということでスケジュール調整がしやすく良かったです。
意図ひらきの後にふりかえりがあっても良いかなーと思った。
- 今回が初めての参加だったので、出来る限り参加の回数を増やしていく事かと思います。
- 普段から、まとめる作業が苦手なので、勉強会を通して、克服したいです。
- 普段接点の無い職種の人たちの意見が聞けて楽しかったです。
- 短い時間のなかで、みんなで学びあえるのはとても良かったです。いろんなスキルがあるなかで、そのときの状況で活用方法を変えられるようになっていきたいです。

